

第3学年2組 英語科授業案

第6限 3-2教室

授業者 板倉 雅幸

1 単元名 Unit5 “Living with Robots”

2 単元の目標

- ・人やものについて情報を加えて説明しようとする。(コミュニケーションの関心・意欲・態度)
- ・疑問詞を使って、自分が何かを知っているなどと述べるができる。
(言語や文化についての知識・理解)
- ・相手の意見を受けて自分の考えを述べながら議論をすることができる。(表現の能力)

3 単元について

本学級の生徒は、英語の授業に真面目に取り組んでいる。普段の授業で行う英語の歌では各々が楽しそうに歌っている。授業の予習も真面目に取り組んでおり、定着率も高い。また、会話表現では、すすんで会話をする姿が見られる。一方で、自分たちで自由に物事を考え、英語で発表することはあまり得意としていない。2019年8月に実施した学力テストの結果を見ても、英作文の問題に解答していない、解答していても文法におかしかったり、論理展開がおかしかったりする答案が目立った。

本単元では、終末にディベートを行う。教科書で、生徒は「ロボットは私たちの生活に必要なか」というテーマで議論を交わしている内容を学習した。相手の意見を聞き、尊重しつつも自分の意見を相手に伝える力を身につけることで、英語の5技能(聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと[スピーチ・やりとり])の習得に近づくのではないかと考えた。しかし、自分の発表したいテーマで発表するよう班を構成すると、英語が得意な生徒ばかり集まってしまうたり、苦手な生徒ばかり集まってしまうたりし、英語でディベートを行う本来の目標を達成できない可能性がある。そこで、今回は生徒の英語レベルと人間関係を考慮した班編成をしたうえでディベートを行う。各班で英語が得意な生徒がリーダーとなり、英語を得意としていない生徒を引っ張る姿や、英語が得意ではない生徒もテーマに対するアイデアを出して周りの生徒の視野を広げる姿を期待したい。

本時では、ディベートを行う。これまでに生徒はディベート発表に向けて資料を準備したり、異なるテーマでのディベート練習を重ねてきたりした。その中で、生徒はアンケートを取り、数字的な証拠を出すことの重要性や、資料を提示して対戦相手や聴き手にわかりやすく示すことの重要性を学んできた。授業のはじめで、ディベートの重要表現を扱った単語シートや表現シートを用いてディベート特有の言い回しの復習を行う。その後、実際にディベートを行う。本実践を通じて、生徒が自分の意見を筋道立てて言える、相手の話を聞いて即興で返答をすることができる姿を期待したい。

4 単元構想 (13 時間完了)

こんな生徒を

英語で自分の意見を話すことに自信がない
相手の意見を聞いて、英語で即興で返すことができない

学習活動	手立て
<p>人やものについて情報を加えて言おう①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>This is a cake (<u>eaten</u> by Mr. Suzuki).</p> </div>	<p>手立て(1): 文型練習を繰り返し、パターン練習の中で分詞の使い方を身につける</p>
<p>疑問詞を使って、自分が何かを知っているなどと述べよう②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Do you know <u>what it is</u>?</p> </div>	<p>手立て(2): 直接疑問文との語順の違いがわかるよう、パターン練習の中で関節疑問文の使い方を身につける</p>
<p>ロボットについて教科書の登場人物はどのような意見を持っているのかを知ろう③④</p>	<p>手立て(3): それぞれの登場人物ごとに論点を整理させる。ペアで協力して登場人物の考えを理解していく。</p>
<p>⑤ロボットに対する自分自身の考えを表現しよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>I think living with robots is / isn't good idea. I have three reasons. First, ... Second, ... Third, ...</p> </div>	<p>手立て(4): スモールステップで取り組ませ、①主張を明確にする ②理由を 1 つ述べる ③理由を 2 つ以上述べる というように達成感を味わえるようにする。</p>
<p>自分の意見を論理的に言おう⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単純に好き嫌いを言うよりも理由を述べたほうがいいね。 	<p>手立て(5): 隣の生徒とペアになり、協力しながら英作文をする。</p>
<p>相手の主張に反論しよう⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の主張をよく聞くことが大事だね。 ・相手に反論するためには相手のことを知らないといけないな。 	<p>手立て(6): モデル文を提示し、全員で「どこに反論できるか」を考える。</p>
<p>実際にディベートを体験しよう⑧⑨⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にはこのように進行していくんだな。 ・相手の話をよく聞かないと何もできないんだな。 	<p>手立て(7): 全員が考えやすいテーマ（野外活動をもう一度行うなら夏がいいか、冬がいいか）を与え、全員が参加しやすい雰囲気をつくる。</p>
<p>本番のディベートに臨もう⑪⑫⑬ (本時⑬)</p>	<p>手立て(8): 隣の生徒とペアになり、協力しながら英作文をする。 手立て(9): それぞれの主張を示した後、自分たちの発言メモを相手に渡し、反論のための手立てを考えやすくする。</p>

こんな生徒に

自分の意見を論理的に伝えられる生徒に

相手の意見を聞き、英語で即興で、適切に返答できる生徒に

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ 仲間が話す発表を聞き、内容を適切に理解することができる。(理解の能力)
- ・ 自分の意見を論理的に述べたり、相手の意見に反論したりすることができる。(表現の能力)

(2) 過程

生徒の活動	指導上の留意点
<p>1 ディベートならではの表現を復習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんで勝ったほうが日本語、負けたほうが英語を言う。(単語シート) ・じゃんけんで勝ったほうがA(質問)、負けたほうがB(答え)を言う。(表現シート) ・多くの人と活動を行えるよう、ローテーションし、会話練習の数を増やす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・反対意見は”That’s true, but …”とつなげるんだな。 ・練習して自信をもって言えそうだ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベート独特の言い回しや表現を復習することで、自信をもって発言できるようにする。 ・時間で区切り、たくさんの人と会話をすることで発話量を増やす。
<p>2 学習課題をつかむ</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【発表者】自分たちの主張を筋道立てて言おう</p> <p>【発表者】仲間の話す発表を理解し、適切な応答をしよう</p> <p>【聴き手】ディベート発表を聞き、論点を理解しよう</p> </div>	
<p>3 ディベートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2グループのディベートを行う。 ・はじめにそれぞれのチームで立論をする。(1人30秒×班員) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ I think that money is more important than love, because we can’t buy anything without money.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの主張後、5分間でその後行われるフリートークで話す内容を即興で考える。 ・5分間のフリートークを行う。相手の主張に対して質問をしたり、反論意見を述べたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ That may be true, but I think the life without love is boring.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の生徒でジャッジをする。 ・聞いている教員もジャッジをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の生徒は発表内容を総合的に判断し、どちらかに1票を入れるが、発表内容を見て、教員、生徒の点数を振り分ける。
<p>4 本時の学習活動を振り返る</p>	

(3) 評価

- ・ 仲間が話す発表を聞き、内容を適切に理解することができるか、ディベートで生徒が返している内容を聞いたり、生徒のメモを見たりして判断する。(理解の能力)
- ・ 自分の意見を論理的に述べたり相手の意見に反論したりことができるか、立論の場面で生徒が理論立てて自分たちの意見を主張できているか、フリートークで生徒のやり取りが会話として成立しているかを聞いて判断する。(表現の能力)